

パージ&トラップ付きガスクロマトグラフ質量分析計の調達に関する質問に対する回答

No	質問日	項目	質問内容	回答
1	6月10日	仕様書	<p>3.仕様(1)エ 「キャリアガス流量の圧力設定範囲が0~970kPaを満たすこと」との記載について、圧力設定範囲が0~689kPaを満たす注入口で問題ないか。</p> <p>水試料中の揮発性有機化合物分析には、690kPa以上の圧力設定を使用しなくても問題ないと考えている。</p>	<p>揮発性有機化合物の分析に支障がない圧力設定が可能であれば可とします。</p>
2	6月10日	仕様書	<p>3.仕様(2)カ 「ターボ分子ポンプは差動排気方式であり、総排気能力が合計350L/sec以上であること。」の記載について、イオン化部とマニホールド部を一括して排気するシングル排気方式（排気能力 255L/sec）のターボ分子ポンプで問題ないか。</p> <p>水試料中の揮発性有機化合物分析には、上記の方式、排気能力のポンプで問題ないと考えている。</p>	<p>揮発性有機化合物の分析に支障がない方式・排気能力のポンプであれば可とします。</p>
3	6月10日	仕様書	<p>3.仕様(2)ク 「イオン源洗浄がユーザーにより容易にでき、装置前面からイオン源のメンテナンスが可能であること。」の記載について、装置側面のパネルを開けることでイオン源にアクセスしてメンテナンスを実施する方法で問題ないか。</p>	<p>イオン源洗浄がユーザーにより容易にできるのであれば可とします。</p>

ページ&トラップ付きガスクロマトグラフ質量分析計の調達に関する質問に対する回答

No	質問日	項目	質問内容	回答
4	6月10日	仕様書	3.仕様(2)ケ 「イオン化部のフィラメントが2本装着でき、一方が切れても、もう一方に自動的に切り替わることで装置を停止せずに分析が可能であること。」の記載について、イオン化部のフィラメントが2本装着できるが、一方が切れた場合、自動的ではなく制御ソフトウェア上で切り替える方式で問題ないか。	自動的でなくてもフィラメントの切り替えが装置を停止せずにユーザーにより容易にできるのであれば可とします。
5	6月10日	仕様書	3.仕様(3)キ 「操作に使用するソフトウェア、レポート、取扱説明書等は日本語であること。」の記載について、ページ&トラップ装置の操作に使用するソフトウェアおよびレポートは英語で問題ないか。 日本語の取扱説明書を用意しているので、制御ソフトウェアが英語でも問題ないと考えている。	装置の操作に関して支障がない日本語の取扱説明書等が用意されるのであれば可とします。
6	6月10日	仕様書	3.仕様(5)イ 「CPUはIntel Core i5-13500以上であること。」の記載について、CPUはIntel Core i5-12500で問題ないか。	CPUがIntel Core i5-12500以上であれば可とします。
7	6月10日	仕様書	3.仕様(5)コ 「装置の真空起動や停止、リークチェックをソフトウェアから自動で行う機能を有すること。」の記載について、装置の真空起動、停止をソフトウェア画面上で手動で実施し、リークチェックは手動で行う方法で問題ないか。	装置の真空起動や停止、リークチェックがソフトウェア画面上又はその他の手段で容易にできるのであれば可とします。

パージ&トラップ付きガスクロマトグラフ質量分析計の調達に関する質問に対する回答

No	質問日	項目	質問内容	回答
8	6月10日	仕様書	3.仕様(5)サ 「分析時間や起動停止などの装置の残り稼働時間を表示し、装置の効率的な運用をサポートする機能を有すること。」の記載について、起動停止などの装置の残り稼働時間を表示する機能を有していなくても問題ないか。	起動停止などの装置の残り稼働時間を表示する機能を有していなくても装置の効率的な運用をサポートする機能があれば可とします。
9	6月10日	仕様書	3.仕様(5)シ 「リテンションタイムの修正機能を有すること。」の記載について、注入口圧力の調整により特定ピークのリテンションタイムを目的の時間に合わせる機能で問題ないか。	注入口圧力の調整により特定ピークのリテンションタイムを目的の時間に合わせる機能でも可とします。
10	6月10日	仕様書	3.仕様(5)ス 「測定中に、サンプルおよびソフトウェア上でバッチの追加が可能であること」の記載について 測定中にソフトウェア上でバッチ（シーケンス）に新しいサンプルを追加することが可能であれば問題ないか。	測定中にソフトウェア上でバッチ（シーケンス）に新しいサンプルを追加する機能でも可とします。